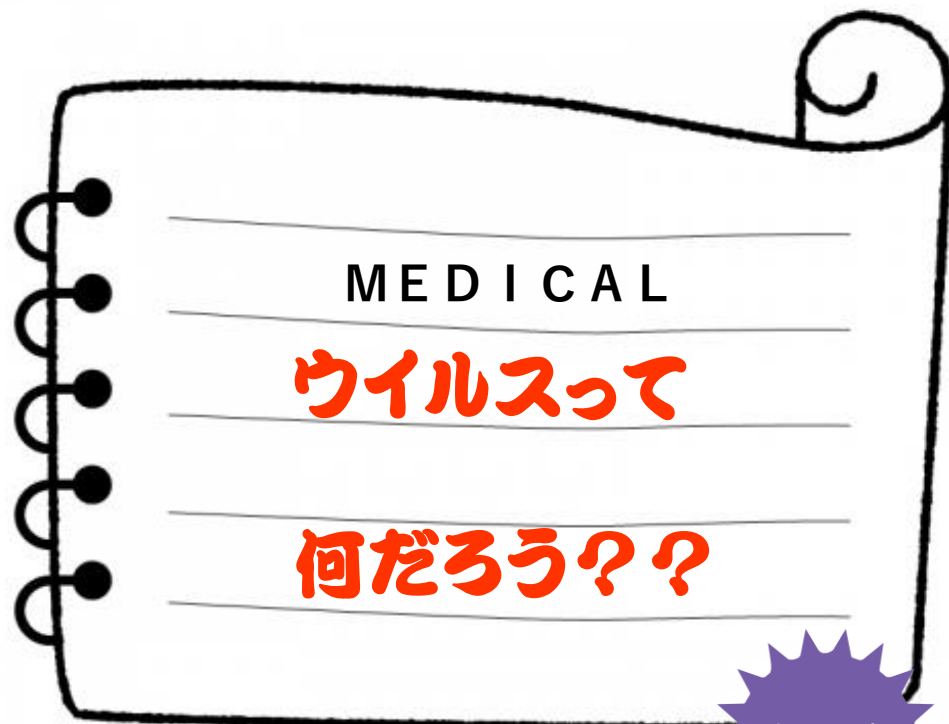


2019年12月以降に新型コロナウイルス感染症が流行り、からかれこれ5カ月。多くの死者を出し、経済も一気に急降下してしまいました。

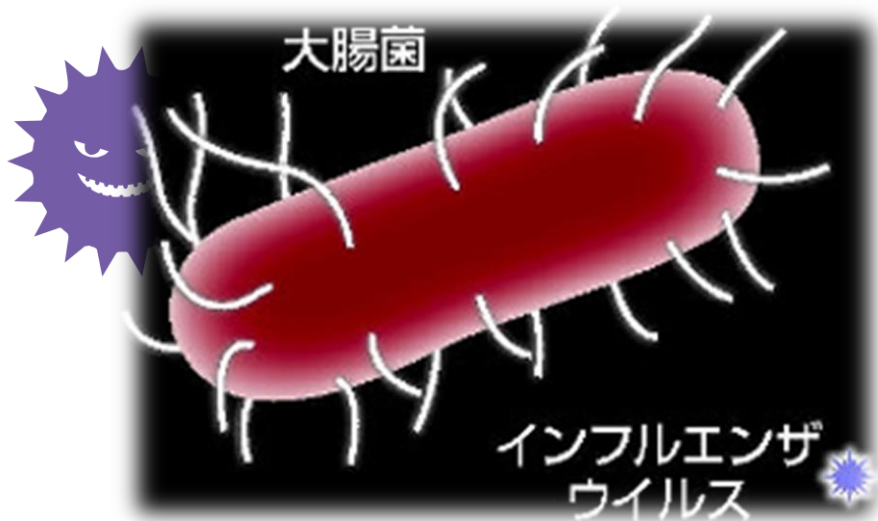
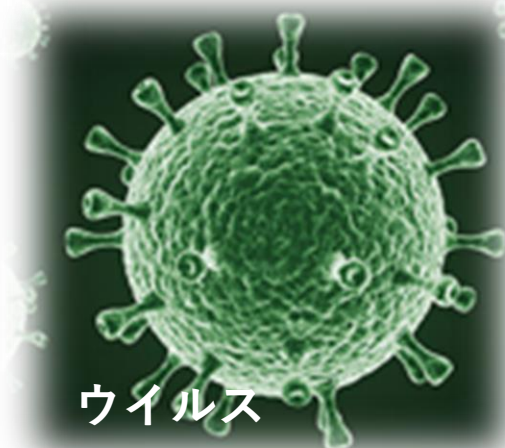
感染症は身体の中に病原体が進入して症状がでます。病原体といっても大きさや構造が異なるものがあり、細菌やウイルス、真菌といったものがあります。まずはこれらの違いを見て行きましょう。



## ウイルス

今回の新型コロナウイルスやノロウイルス、インフルエンザ、風邪のほとんどはウイルスが原因です。

タンパク質の殻と核酸というもので成り立っており「細胞」を持っていません。すごくシンプルな構造をしていて、大きさは10nm~100nmほどです。



## 細菌

ウイルスより10~100倍ほど大きいです。細胞を持っており、栄養さえあれば単独で増える事ができます。納豆菌の様にモノを腐らせたり、大腸菌のような有害な細菌もあります。

## 真菌

細菌よりもさらに大きく真核生物とも言います。カビやキノコ、酵母菌も真菌の部類に入り、小さな器官を持っていて、ウイルスや細菌より高等な生物です。



まず、ウイルスと細菌は別物と考えていただくのが重要なポイントです。

ウイルスは細胞を持たないと書きましたね。ウイルスは細胞がないので単独で増える事ができません。ウイルスは人などの細胞の中にウイルスの遺伝子を入れてウイルスがいつばいできたなら今度は別の細胞にくっついて増えます。

従ってウイルスの場合は人や動物の細胞がないと増える事ができません。細胞がないのでこれをやっつける手立てが原則ないのです。

私達がインフルエンザにかかると、病院からタミフルなどの薬を貰うと思います。が、しかしタミフルなどの薬は抗インフルエンザ薬という薬で、ウイルスを破壊して倒してくれるわけではありません。

単にウイルスの増殖を抑えてくれるだけなんです。風邪薬も風邪を治してくれるわけではなく、症状を和らげてくれるだけなんです。

(抗ウイルス薬というウイルスをやっつける薬は確かにあるんですが、特定のものだけに限られていて、ウイルスはあまりにも多くの種類がありますし、そもそもウイルスをやっつける薬はないと考えたほうが良いです。)

細菌は細胞の周りを細胞壁というバリヤーみたいなものがあります。そして自らを増やすためにタンパク質を作って、細胞を分裂させるので単独で増殖ができます。

細菌の増殖を防ぐ為には主に二通りの方法があります。

#### ① 細胞壁を薬で破壊する

人の細胞には細胞壁がありません。そこで細胞壁を壊す薬で破壊してしまおうわけです。こうすれば細菌だけが死滅していきます。

② タンパク質を作ろうとする行為を阻止  
生物が生きる為にはタンパク質が必要で、これは細菌も同じ事です。そこで薬を使いタンパク質が作られないようにしてしまうのです。

病院に行きますとこういった効力のある薬が処方されるわけですが、この薬を「抗生物質」といいます。もちろんですが、抗生物質はウイルスには全く効きません。

新型コロナウイルスは7種類見つかっており、その中の1つ(SARS-CoV2)が問題となっているものです。

そして残り4種類は風邪のような症状で収まる軽症のもの、2種類は重症呼吸器症候群や中東呼吸器症候群となります。

問題となっている新型コロナウイルスは飛沫感染(くしゃみなど)と接触感染の2つで感染することが確認されており、アルコール消毒によって感染力を防ぐことができます。(70%ほどで絶対とは言いきれません。)

そうやってきますと、結局はコロナウイルスを死滅させる薬が開発されるのを待つより、マスクをしたり、人混みに行かないなどの感染防止策をして、自分自身が防護策をとる方が現実的と考えられます。

#### ～注意する事～

- 感染が疑われる家族のお世話はできるだけ限られた方でして下さい
- マスクをつけましょう
- 換気をしましょう
- 手で触れる共有部分を消毒しましょう
- 汚れたりネン、衣服を洗濯しましょう
- ゴミは密閉して捨てましょう
- 人混みに行くことを避けましょう